

Press Release (H30/11/2)

岐阜大学大学院医学系研究科 加藤善一郎教授が  
マンガ 脱・「不登校」を出版します

岐阜大学大学院医学系研究科 加藤善一郎教授は、下記の通り、附属病院を中心に発達障害と不登校についての診療を続けていますが、不登校に関する物語と診断・治療の解説・学校との連携・進学のアドバイス等に関する内容を掲載したマンガ 脱・「不登校」を2018年11月7日（水）に刊行します。

「不登校」を克服する最も大切な鍵として、お子さんの「だいじょうぶ感」という新たな視点が提示され、さらに親自身の「だいじょうぶ感」の再確認の重要性、ネットコントロールなども解説され、予防にも役立つマンガとなっています。

記

タイトル：マンガ 脱・「不登校」

起立性調節障害（OD）克服と「だいじょうぶ感」をはぐくむ

著者：加藤 善一郎（岐阜大学大学院医学系研究科）

出版社：学びリンク

定価：1,200 円+税

概要：

臨床医としての経験と、研究などを通して培ってきた、「生きている」ということへの理解を生かしながら、発達障害・不登校の臨床と地域連携を進めています。家族の大きな危機でもある「不登校」をいかに理解し、いかに対応すべきか、ひとりの親・ひとりの小児科医として、患者さん・家族・学校の先生達と、一人ひとりに合った対応を模索している毎日です。

「登校しないこと」そのものは、必ずしも悪いことばかりではありませんし、そう決断したことで初めて得られるものもあります。しかし、皆さんがお困りの、いわゆる「不登校」というものは、本人・家族だけではどうしたらいいかわからず、袋小路に迷い込んでしまう側面が多いものです。皆さんと一緒に考え協力していくことで、こども達を取り巻く状況を、少しでも改善していければと期待しています。Let's kick out the 「不登校」!



新しい出発に向けた  
小児科臨床現場からの贈り物

日本小児科学会会長 推薦

慶應義塾大学医学部小児科学教授 高橋 孝雄 先生

不登校の患者さんに長年寄り添って来た専門家による渾身の一作。マンガによる臨場感が患者・ご家族の苦しみをありのままに伝える。関係者の理解を深め解決の糸口となるはず。“子どもの代弁者”からの熱い熱い贈り物。

医療現場と教育現場の連携に役立つこと間違いなし!

学びリンク

【本件に関する問い合わせ】  
岐阜大学大学院医学系研究科 教授 加藤善一郎  
電話：058-293-6386  
メール：zen-k@gifu-u.ac.jp